



TITLE:

和歌山県西牟婁郡白浜町で採取された生きたスイジガイLambis (Harpago) chiragra(盤足目, ソデボラ科)の亜成貝

AUTHOR(S):

橋本, 伊勢雄; 檜山, 嘉郎; 久保田, 信

CITATION:

橋本, 伊勢雄 ...[et al]. 和歌山県西牟婁郡白浜町で採取された生きたスイジガイLambis (Harpago) chiragra(盤足目, ソデボラ科)の亜成貝. 南紀生物 2009, 51(1): 58-58

ISSUE DATE:

2009-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188325>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

和歌山県西牟婁郡白浜町で採取された生きたスিজガイ *Lambis (Harpago) chiragra* (盤足目, ソデボラ科)の亜成貝

橋本伊勢雄*・榎山 嘉郎**・久保田 信***

Iseo HASHIMOTO, Yoshiro KASHIYAMA and Shin KUBOTA: A living subadult of
Lambis (Harpago) chiragra (Discopoda, Strombidae) collected at Shirahama town,
Wakayama Prefecture, Japan

和歌山県中紀沿岸はソデボラ科 Strombidae の北限海域で、その一例のスিজガイ *Lambis (Harpago) chiragra* (LINNAEUS, 1758) は、御坊市やみなべ町の漁港で刺し網にかかったものが発見されたり (土生, 2001)、白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所北浜へ打ち上げられた貝殻が採取された記録がある (久保田・小山, 2002)。これらのスিজガイの記録は、いずれもごく若い幼貝で、棘の伸張がみられないものばかりであったが、今回、大型の亜成貝が採取されたので報告する。

2008年11月25日に、和歌山県西牟婁郡白浜町の安久川河口沖、水深5 m地点で、著者の一人の橋本が操業中のエビ刺し網にかかった1個体の生きた亜成貝、殻長125 mm (図1) を採取した。この標本は著者の一人の榎山が保管している。地球温暖化に伴い、南方系種の成長の促進と冬季の死亡の減少により、今後、本種のような採取例が見込まれる。

引用文献

- 土生紳吾. 2001: 日本北限分布を記録した和歌山県産ス
イショウガイ科 (軟体動物門, 腹足綱) 5種. 南紀
生物, 43 (2), 165-166.
- 久保田 信・小山安生. 2002: 番所崎, 特に“北浜” (和
歌山県白浜町) へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録
(1). 南紀生物, 44 (1), 69-76.

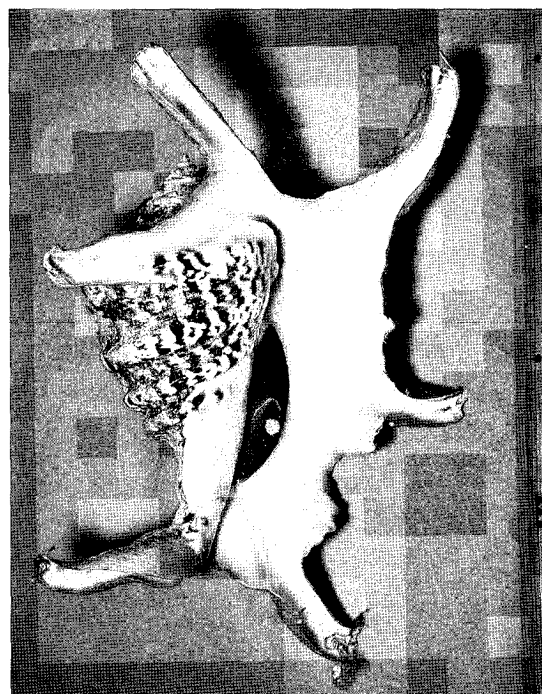


図1 和歌山県西牟婁郡白浜町で採取された生きたス
イジガイ *Lambis (Harpago) chiragra* の亜成貝

Fig. 1. A living subadult of *Lambis (Harpago) chiragra*
collected at Shirahama town, Wakayama Prefecture,
Japan.

* 〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1095-6

** 〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田1143

*** 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University,
Shirahama-cho 459, Nishimuro, Wakayama Prefecture 649-2211, Japan